

e' forward Solution

実際にe' forwardをご導入いただいたお客様を訪問し、e' forward採用のきっかけ、活用ポイント、感想などのお話を伺いました。皆様の情報システム充実のヒントに活かして頂ければと思います。

Customer Report

太平工材株式会社 様

OPEN対応による 手作業の徹底的な撤廃

——— e' forward 導入の理由をお聞かせ下さい。

e' forward導入の決め手は、業務改善に高い貢献度が見込まれるシステム構築ができると期待できた事です。弊社では、日々の業務の中で様々な問題点をかかえておりました。中でも最も頭を悩まされていたのが受注業務です。まず、注文内容を受注カードに手書きで記入し、それを元にコンピュータに入力して仕事をするという業務を行っており、多くなる仕事量に対してそれに対応できるシステムが必要とされました。そんな折、ICRさんから今まで使用してきた基幹システムをそのまま引継ぎ、手作業で行っていた運用をシステム化する仕組みの提案を受け、e' forwardに興味を持ちました。

e' forward導入により、長く使用してきたAS400を含め、現在の基幹システムのまま問題解決ができるということでe' forwardに決めさせていただきました。

Profile

太平工材株式会社様は、ステンレスとアルミニウムを主体とした素材及びその素材を使った全ての加工品の取り扱いを行われておられます会社様です。



太平工材株式会社 本社
(兵庫県 姫路市)

昭和51年3月の設立以来、1時間でも早く商

品をお届けすることをサービスの第一と心がけ、お客様の意見を常に聞き、クレーム処理には迅速に対応するということを経営の旗印とされてきました。

更には「即納」という方針を掲げ、そのために必要とされるシャーリングやプラズマ、レーザー等の充実した設備と豊富な在庫を取り揃えてこられました。

また、品質につきましても、平成13年1月31日にISO9001を認証取得し、全社員の品質に対する更なるレベルアップを目指されておられます。

昨年、創立30周年という大きな節目を迎えられ、今後更なる皆様のご期待に応えるべく、精進されておられます。



相談役 伊藤 勝世 様(右)
代表取締役 平位 稔之 様(左)

手書き受注カードを完全撤廃。受注の直接入力ですべての業務効率アップ

——— e' forward導入による新システムのポイントをお聞かせください。

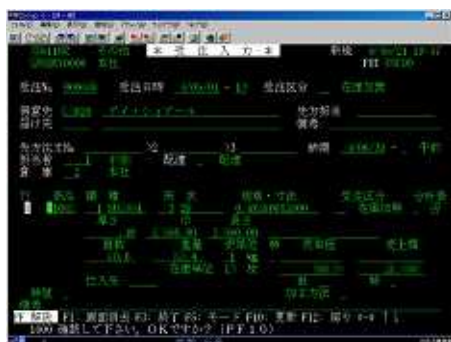
受注入力において、直接コンピュータに入力しプリントアウトすることが可能になりました。これにより、手書きする時間がカットされ、作業時間の大幅な短縮に結びつきました。

また、手書き作業がカットされたことで、ミスの削減にも繋がるほか、ミスが発生した場合でも迅速な対応が可能になりました。

e' forward導入前は、手書きした受注カードを元にコンピュータ入力し、印刷し作業を行っていました。

そのため、手書きの段階と入力の段階との両方でミスが発生する可能性がありました。ミスが発生した場合も、どの段階でのミスが分からないため、後戻りの作業を行っていましたが、e' forward導入でそのような作業が軽減されました。

受注入力画面



画面サイズが大きくなったため、一画面で受注入力ができるようになり、同時に様々な現場への加工指示も行えるようになりました。

e'forward導入による効果

2クリックで ミルシート+送り状が印刷可能に

ミルシートの運用も、e'forward導入により、ミルシートは全てスキャンして、メーカーとチャージナンバー・鋼種等の必要なキーワードを入力し、サーバーに保管するように変更しました。

ミルシートが必要な注文に対しては、ミルシート照会画面(右図)からの出力項目を選択し、の作表をクリックすると、即時にミルシートと送り状がセットで印刷される仕組みになっています。とても簡易な操作になり、事務作業でのミスもなくなりました。

そして、ミルシート印刷後は発行有無欄に「済()」と表示され、印刷・発行が完了したかどうか一目で把握できるようになりましたので、お客様からの問い合わせや苦情も激減しました。

e'forwardを導入するまでは、ミルシートは仕入先毎のメーカーや鋼種単位等で分類し、全て紙でファイルしていました。2000枚~3000枚に渡るミルシートの中から、必要なミルシートをコピーしたものと、送り状をセットにして袋に入れ、送付していたのです。

そのため、書類管理が煩雑になりがちでミスも発生しやすく、お客様からの催促も度々あったように思います。

今回のe'forward導入で、そういった点も含め、非常に業務効率が上がったと思います。

リアルタイムな営業成績の 把握も可能に。営業指導に貢献

営業管理照会画面では、e'forward導入によって、現状の売上、今月の今日までの売上、まだ伝票処理の行えていないもの等、営業担当者毎に一覧になり、一目で確認できるようになりました。

e'forward導入前は、日報を確認しないと、そういった情報が全く把握できず、営業管理がきちんと出来ていませんでした。

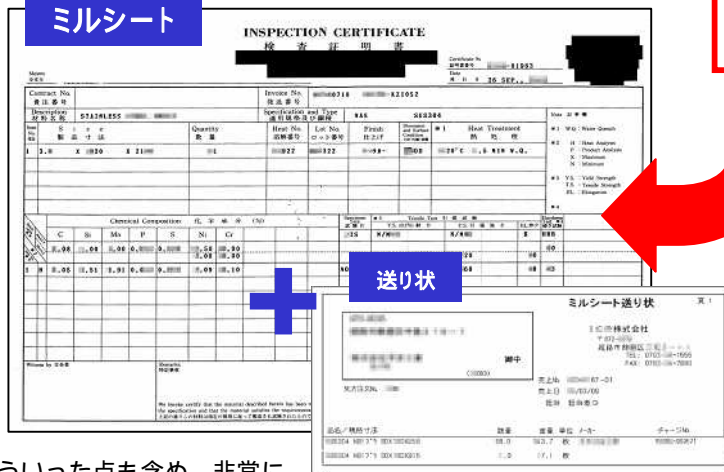
今回、この営業管理照会画面の充実によって、営業マンへの指導もきっちり行えるようになったと喜んでます。

今後のシステム展開についてお聞かせ下さい。

残材の管理が今後の課題です。現在、定尺品に関しては在庫管理システムで管理できていますが、少しでも使用したら、在庫管理システム上は0になります。しかし、在庫枚数が少なくても厚みのある板は、残材

ミルシートとは「検査証明書」のことで、鉄鋼メーカーが、規格が指定された鋼材を受注した場合に、その製造結果が指定された規格などの要求を満たしていることを証明した書類です。

ミルシート照会画面



ミルシート照会画面の出力項目()を選択し、作表()をクリックするとミルシートと送り状が印刷されます。

営業管理照会画面



営業担当者毎に売上等の情報が一覧で確認できます。

画面内のデータは架空のデータです。

で注文対応できる品もあるので、現状、その都度、現場に確認しています。

ですので、残材管理がシステム化できれば、手間も省け、更に事務効率アップに繋がるのではないかと考えています。